

学校評価：保護者からのご意見・ご要望に対する回答

青森県立田名部高等学校

	ご意見・ご要望	関係分掌からの回答
教務部	勉強に対する意欲を上げる為の指導をしてほしい。	難関大学の合格者や医学部医学科への進学、就職も公務員や民間就職の合格者を今年も順調に出し、さらに進学先の特待生内定をもらう生徒も出るなど本校生徒の学習に向かう姿勢は素晴らしいと思います。また、座学だけではなく、実技科目や芸術科目にも一生懸命取り組むのが本校生徒の長所だと思っています。この姿勢が学校行事を一生懸命楽しみ、式典の際の立派な歌唱などにつながっているといえます。これも素晴らしいことだと思います。 授業内容の見直しや担当、クラス分けは選択科目や成績に偏りが出ないように最大限考慮して編成しています。おっしゃるとおり、校内の成績だけでなく外に目を向ける意識・学習意欲の向上が学力を伸ばすことにつながります。そのためには、本校生徒の実情にあった動機付けや目的意識をもたせることが必要になってくると考えます。「自ら学ぶ姿勢」を身につけるためにどのような働きかけをするべきなのか、多様な進路選択者のいる本校ですので、教科の特性も鑑みて日々考えております。教員同士の互見授業や公開授業や、授業アンケートの実施など、教員が自身の授業を振り返る機会を設けてまいりますので、引き続きご家庭での生徒への声かけをよろしくお願い致します。
	今後も学力向上のため担当変更・授業内容の見直し等の検討をお願い致します。	
	ここ数年は難関大学合格者が複数出ていて、「地元の高校から頑張れば良い大学を狙えるんだ!」と希望を与えてくれました。確かにカリキュラムも毎日7時間授業あり、定期的に模試あり、と勉強環境も整っていると思います。ですが、生徒の意識的な面で、まだ競争力が足りないと思います。自分の子供の例で申し上げますと、一位目指して頑張る、でも一位取ると油断して落ちる、の繰り返しです。ライバルは田高生ではなく、全国の高校生なんだよと折に触れて話していますがなかなか伝わりません。クラス編成のシステムは詳しくはわかりませんし実際に行われているかもしれませんが、主要教科を理解度でクラス分けするなど、高いレベルの子はより高く、そうでない子は基本的な内容を理解できるような工夫ができれば、田高生全体の学力が底上げされ、生徒間にも緊張が生まれれば競争力がより良い方向に進むのではないかと期待します。学校でも危惧されていることと思いますが、あらゆるレベルの子が理解力を上げられる工夫をお願いいたします。	
生徒指導保健部	通院で遅刻し学校に行ってからへの対応ですが、何人かの先生方からの印鑑が必要なルールは見直したらどうでしょうか？授業の何分かを過ぎると欠席扱いになるということですが、印鑑をもらって歩いているうちに時間が過ぎてしまう場合はどうなるのでしょうか。印鑑が必要であれば、そのときの授業をしている教科担任か、保健室の先生の1つで戻ってきた時間を記入する等で十分ではないでしょうか。	通院も含め体調不良等で遅刻してきた場合は生徒の所在確認のため、授業に行く前に職員室で担任や各年次の先生の確認が必要となります。そのため現在は遅刻カードに記入し先生方の確認の押印が必要となりますが、今後は手続きに時間がかからないよう方法を検討したいと考えております。 試合に参加する際に、保護者宛に参加の詳細に関する連絡文書が配付されていると思います。その書面にてかかる費用の内訳（交通費、昼食代、参加費、etc）が分かりやすく記載されなければならないので、各部の顧問にその旨を周知したいと考えております。 学校周辺や敷地内の車の渋滞については、敷地内の一方通行や車の乗り入れの制限等、生徒の安全を第一に考え毎年検討しております。今後も生徒が安全で安心した学校生活が送れるよう取り組んでいきたいと考えております。
	学校への要望というよりは、部活動への要望です。部活での試合等の費用の内訳が雑です。もう少し具体的な詳細を記載して欲しいです。	
	朝、保護者の車の渋滞が生徒や車にとって、危険だと思います。検討をお願いします。	

裏面へ続く⇒

進路指導部	子どもの希望進路達成に向けて少しでもできることがあれば親も力になりたいので、あまり詳しくない親でも分かる進路情報の提供がもっとあるとありがたいと思います。今後ともよろしくお願いします。	保護者の方々を対象とした進路講演会を企画し、情報発信を行っていきたくと考えております。進路通信の内容も精査して、有益な情報を掲載できるように努めていきます。
	共テ終了後の特別授業では子どものレベル、必要性に応じて選択のはばがもっとあれば良かったと思います。（自習室の開放も含めて）	共テ終了後の特編授業については、生徒の志望校に合わせた授業を実施しています。今年度の実施内容を振り返り、その中で出た改善点を、次年度以降に生かしていきます。
	大学受験を重点的にするのは良いが、先に進路が決まった子供達が「学校の決まりだから」と卒業後に向けた準備に取りかかれなないのが、とてももどかしいです。受験勉強をしない子への配慮もほしかったです。	大学受験の有無に関わらず、進路選択は年次全体で取り組むものであると考えております。日常的に、周囲の状況に応じて行動するように指導を行っています。 1月から2月の時間割は変則的であり、登校する機会が限定されていますが、基本的に授業日と同じ扱いになっております。この期間も、卒業に向けて勉学に励む時期であると位置づけられていますので、学校だけでなくご家庭でも勉学に励むように、お声がけ等のご協力をいただけますと幸いです。よろしくお願いします。
	スタディーサプリの利用について、有効に利用しているように思えません。諸費で利用料を賄うのであれば、学校として取り組むべきではないと思います。	現在、スタディーサプリについては希望者のみ利用しています。使用料については、利用希望者から個別で徴収しています。具体的な使用方法については、生徒の自主性を尊重しています。
生徒対応（その他）	親切に丁寧に対応してくださる先生が多くいるようですし、特に担任の先生には大変感謝しています。ただ、そうでない方もいらっしゃるようで残念です。高校生としての自覚や進学への意識に対して、指導上のこととは思いますが、先の見えないものに向かう子ども、親の気持ちに立って対応してくださればと思うことがありました。	厳しい高校受験を経験していない生徒達にとって、就職・進学を問わず目指す進路を達成することは、人生初の大きな挑戦であると思います。先の見えない勝負に挑む生徒達は、大きな不安を抱えながらも、日々の努力を積み重ねなければなりません。時には自覚とやる気を促すために生徒を厳しく指導しなければならぬこともあります。同時に生徒が抱える不安や悩みに寄り添う姿勢も大切にしなければならぬと心得ています。その思いは、保護者の方々も同様ではないでしょうか。生徒の自尊心を重んじ、やる気を喚起し、自ら道を切り拓いていけるバイタリティーを育てていきたいと存じます。今後ともよろしくお願い致します。
	病院や家庭の用事などで模試などを欠席する事が許されないと云われましたが、それは担任が決めることではないと思います。今回の件に限らずもっと生徒への言い方、相手の事を考えて話ししてください。学校側の対処を必ず返答ください。	やむを得ない事情で模試などを欠席することに関しては、御家庭の判断を尊重します。担任に確認したところ、あらかじめ日程を示している模試であり、進路達成に向けてどのような努力を必要とするかを測る重要な手がかりになるので、できる限り所用を外して受験してほしいというニュアンスで生徒達に呼びかけていたとのことでした。しかし、言葉が足りず誤解を招いていたならば、今後改善していかなければなりません。また何かお気づきのことがありましたら、お知らせください。
	学割を申請する際に、数人の先生方の印鑑を頂くのにご不在だったりすると数日かかり大変だと感じました。	講習、個別指導、会議、出張など、教員たちが所用で拘束されることで、生徒達に不便をかけることがあったと思います。教員の押印を伴う所用に関しては、スケジュールから逆算して早めに対応するよう生徒達に指導していきます。御家庭におかれましても、お声がけいただければ幸いです。
	ムービー（バス）が学校に停まるように要望する。	「ムーヴィ」は現在実証実験運行されているものであり、本格運営に向けて御意見・御要望を寄せることができます。詳しいチラシがＨＰ公開されていますので、こちらを御覧いただき、担当に御要望を相談されることをお勧めします。 https://bus.mutsusuyatai.com/swfu/d/muve-flyer-2024.pdf